

今回はカタールの国の宗教である「イスラム教」についてお話しします。

## 世界三大宗教の一つ「イスラム教」

世界には多くの宗教が存在しますが、その中で国家や民族を超えて、たくさんの信者をもつ世界三大宗教と呼ばれる宗教があります。それは、キリスト教、仏教、そしてイスラム教です。イスラム教は世界中に13億人以上の信者がいるとされ、キリスト教に次ぐ、第二の信者数を誇ります。イスラム教には様々な宗派が存在し、スンニ派、シーア派などが代表的なものです。大部分のカタール人はスンニ派に属しています

## カタールにおけるイスラム教と生活

イスラム教はカタールの人々の生活の基本になっています。イスラム教を守る人々を「ムスリム」といって、彼らはイスラム教の教典のコーランの教えを守って生活しています。そのコーランの教えは道徳であり、イスラム教徒にとっては生活そのものと言っても過言ではありません。イスラム教はそのコーランの教えに基づく戒律（宗教上のきまり）が厳しいことでも有名です。

## イスラム教徒の5つの義務「五柱」

イスラム教徒が義務としている「五柱」を紹介します。

### ①信仰告白（シャハーダ）

「アラー以外に神はなく、ムハンマドは神の預言者である」と絶対的な信念をもち、アラビア語で唱えること。

### ②礼拝（サラア）

毎日5回お祈りをする。日の出前、正午、午後、日没、睡眠前の決まった時間に、サウジアラビアのメッカ（イスラム教の聖地）に向かってお祈りをします。この時間になると各地域にあるモスク（イスラム教の礼拝堂）からお祈りの呼びかけの放送が始まります。カタール国内にも2000ほどのモスクがあります。休日の正午のお祈りはたくさんのイスラム教徒がモスクに集まります。モスクに入れなほどの人が集まることもあり、道ばたにも人が溢れ、そこで熱心にお祈りをする姿も見かけます。



モスクでお祈りをするイスラム教徒の様子

### ③喜捨（ザカート）

寛い心を持ち、貧しい人へ施しを与えること。カタールでは税金がない代わりに、自分の収入の一部を恵まれない国内外の人々へ喜捨しています。

### ④断食（ラマダーンまたはサウム）

一年の中で太陰暦によってラマダーン（断食）の月が定められます。その一ヶ月を神聖な月とし、日の出から日没まで、飲食や喫煙などをしてはならないとしています。この月は多くの商店がラマダーンの時間帯に店を閉めます。大型スーパーなどもお昼から夕方まで店を閉めるため、イスラム教徒ではない人々にとっては少々不便を感じてしまいます。

### ⑤巡礼（ハッジ）

時間やお金に余裕があるならば、一生のうちに一度は聖地メッカへの巡礼をしなければならない。

以上がイスラム教の5つの義務「五柱」です。先日、車の購入のためにカーディーラーへいきました。商談がまとまろうとしているところ、モスクからのお祈りの放送がはじまりました。すると「ちょっと待っていてくれ」と言われ、社員全員が部屋の一角に集まってひざまづき、お祈りを始めました。デスクに残された私たちは唾然としてしまい、熱心に祈る様子を静かに見つめるばかりでした。本当に生活の一部としてイスラム教という宗教が存在していることを実感しました。イスラム教徒ではない人々にとってはこれらの義務を実践し続けることはたいへんなことだと感じます。またこのほかにも、豚肉を食べたり、お酒を飲んだり、賭け事をしてはいけないなどがコーランには書かれています。うーん…ますます厳しさを感じますね。